

年少組、第二保育期

— 満四歳、満五歳 —

生活訓練

第十二週

第九週から第十一週まで空欄になつてゐるので、解説子には手数が省けて有り難い。訓練が休みで子ぎもらも有り難いでせうなんていふのは誰れですか。そんな考へ違ひを大人の方でもつてゐるからいけないんです。訓練が休みで助かるなんていふのは不良學生のいふことで、幼児にそんな不都合な考へは起らない。若し起つたしたら、その訓練がよつばぎ不都合な訓練なのである。いつもいふやうに生活訓練はそんな苦しいことでも、重壓を感ずることでもない。況んや、保育案が空欄になつてゐるからつて、訓練

そのものが休止の譯ではない。幼児はそれ々の生活の中で、生活そのものによつて、生活そのものを絶えず訓練されてゐるのである。——但し、空欄のお蔭で解説子の助かることだけは確である。呵々。

さて、その第十二週も、別段解説を要しない。辨當あたためは、各園でそれ々異つた設備方法によるであらうから一様に言へない。暖房装置にさはらぬことゝいふのも、いろいろの暖房装置があるから一概にはいへない。たゞ幼稚園の各仕度ぐが、いろいろの心づかひを伴ふものであることを忘れなければよからう。